

教育行政について

問 時代を担う子どもたち
の教育環境の一環として、地域の大人が積極的に声をかけ、子どもたちの長所を見つけ自治体で顕彰していく、そういう仕組みがあってもよいと考える。そこで、子褒め条例の制定をしてはどうか。また、地方分権が進む中、今後は、地域の裁量で学校の創意と効率を期待できる本市独自の教育行政を取り入れる考えは無いのか。

答 現在、総社市教育委員会児童・生徒表彰規程に基づき表彰し、また、さつき賞を市内すべての小・中学校で該当者を表彰している。さつき賞の趣旨を踏まえ、今後検討していきたい。教育行政は、保護者や地域住民から信頼される学校づくり、一人ひとりを大切にしながら教育を柱に、きめ細かい指導で児童・生徒の育成に努めたい。

光 畑 嘉代子

平和行政について

問 今年、被爆・終戦60年の節目の年だが、「戦争体験を聞く会」・「平和について語る会」、また、図書館に平和に関する本のコーナーを設けるなど行政として何か取り組む考えはあるか。

答 「平和」に対しての市長の考え思いはいかがか。
市民団体等による平和を目的とした活動は、引き続き側面的に協力していきたい。また、平和コーナー、戦争体験等を語る場や催し物は、有意義と思うので尊重させていただく。平和の大切さを肝に銘じ、戦争の犠牲になった方々に心からご冥福をお祈りすると共に敬意を表したい。核兵器廃絶平和都市宣言の議決も考えている。

高齢者・障害者支援について

問 人はみな慣れ親しんだ所で住み続けたいと願っている。家庭・行政・地

域それぞれの立場で支えあっていくネットワークが求められている。高齢者・障害者への支援の制度見直しにより不安な気持ちで生活している。一人ひとりが生きてきた生活や願いに対応する支援を考えて欲しい、正面からきちんと向かい合うことのできるゆとり・体制づくりが必要と考えるがどうか。

答 新予防給付や地域支援事業を市が責任主体で展開し、来年度から小規模

な施設で、デイサービスや宿泊などさまざまなサービスが受けられる地域密着型サービスの創設にも取り組む。また、介護保険料は値上げせず、低所得者の減免も見直したい。障害者支援では、所得のない方の減免も含め検討させていただきたい。

松 浦 政 利

財政改革について

問 基金の中には目的とした基金の積み立てがあるが、一般財源に充当できる財政調整基金がその内いくらかあるのか。公債費比率が右肩あがりである現在16・5%、どの程度まで上がるのか、今後の見通しはどうなのか。また、経常収支比率15年度末で94・5%と100%近い厳しい実態だが、今後下げるために財政改革をどう進めるのか。

答 合併当時の数字で、取り崩し自由に使える基金の代表的なもので財政調整基金19億5900万円、減債基金12億2700万円、他に退職手当債、まちづくり基金等で約44億である。公債費比率は20%を超えないように、経常収支比率も100%を超えないよう財政運営に努めたい。

無農薬農産物の生産について

問 無農薬の農産物をつくりブランド化を進めるといわれたが、健全な農産物をつくるための環境、土壌要件が必要と考えるがど



元気で頑張りたい高齢者グランドゴルフ大会